

由利

天理教由利分教会

郵便番号 015-0862

由利本荘市小人町 159

電話 0184-22-0707

FAX 0184-22-1235

Email yurisoudan.13@gmail.com

立教187年 令和6年

3 月 号



御本部梅の花風景

二月 一ヶ月間の主な歩み

- 一九日 北蒲原分教会月次祭
二二日 大教会月次祭
二六日 御本部月次祭、由利婦人会
二七日 大教会役員当番
二九日 大教会役員会議

三月

- 一日 委員部長の集い
三日 支部例会(上之浜)
五日 お願いづとめ
七日 おさづけ取り次ぎ日
九日 教会車点検日
十日 秋田中村宅おつとめ
一二日 会長理事会議
一三日 由利分教会月次祭

今月の言葉

由利分教会長

佐々木 正 明

今月の言葉は仙田善孝、三宅雅史著、「医師と読み解く 驚き! 「かりもの」の体」より抜粋いたします。貸借関係にたとえる意味

ところで、親神様は私たちのこの体を、親神様と人間の心との貸借関係にたとえることで、どのようなことを教えてくださっているのでしょうか。

諸井慶一郎氏(元天理教校長)は、著書『天理教教理大要』の中で、その中について詳細に言及されています。

まず、この体を「貸した」と言えるのは、人間の体をお造りになり、しかもその体内へ入り込んで日々お働きくださり、生命を授けてくださるお方だけです。私たちは、両親によって造られたと言いますが、正し

くは両親が「造った」のではなくて、両親から「できた」のです。神様を知らない人は、両親の精子と卵子から自然にできたと言いますが、おふでさきでは、

これからは神のしゅごとゆうものハなみたいていな事でないそやたいないゑやどしこむのも月日なりむまれだすのも月日せわどり

とあるように、受精卵を子宮に着床させ、およそ二百八十日間で胎児を成長させて出産させるまでの行程は並大抵のことではなく、その工程のすべてにわたって、親神様が片時も休むことなく世話取りしていることを明言されています。これこそ、造り主にしか言えない話です。

次に、貸借の常識では「ただ」というのはなく、皆「利」が付いて回ります。家なら家賃、お金なら利子、道具なら使用料とあり、その利を払わなければ「借り倒し」ということになり、借り物を我が物にしてしまうのは「取り込み」です。

また、借りた物を返すのは「返却」であり、それに利を添えて返すのが「返済」です。物だけ返して利を払わなければ、後に「借り」という利が残ります。利を払った上に、さらに「お礼」を言うのは、結構な物を貸してくださった相手の好意に対してのお礼であって、貸してくれた相手への報いるということです。利を払ったのだから礼を言う必要はないと、乱暴に叩き返しても返済には違いありませんが、それでは貸主のご恩に報いることにはなりません。借り物が、自分にとって結構なものであると思えば、誠実にお礼を申すことが良識ある人の取る態度と言えるでしょう。

**三月一日 婦人会
委員部長の集い開催**

去る三月一日、大教会に於いて委員長が集いが開催されました。

大教会長様は、昨年の青年会総会

でのポスターを引用され、心をすま
すことが大切であると話され、その
為には先ず自分の「ほこり」に気付
き、それを払う努力が大切であると
お話がありました。

引き続き支部長様からは互いたて
あい、たすけあいについてお話があ
り、たてあうということは、相手を
思いやり、尊重することであること、
又、自分と神様の
心の距離をちぢめ
ていく努力をして
いってほしいと話
されました。

午後からは、グ
ループに分かれ、
「おたすけ勉強会」

が行われました。悩みを相談する人、
それに対してアドバイスする人に分
かれ、どのように対応したら相手の
心に寄り添えるかを勉強し合い、終
りました。



☆教会よりお知らせ☆

◎三月二十日(水)朝づとめ終了後
より由利分教会春季霊祭をさせて頂
きます。ご参拝よろしくお願いま
す。

◎四月の月次祭は、四月九日(火)で
すのでお間違いないようにご参拝下
さい。

♪婦人会よりお知らせ♪

① 毎年恒例の「感謝の心を日々に」
の御供を、来月四月九日の月次祭に
集めさせて頂きます。

健康につつながなく一年を過ごさせ
て頂いた御礼の御供を教祖御誕生祭
に御供させて頂きたいと思えます。
何卒宜しくお願い致します。

② 四月は婦人会費納入月となりま
す。年間一、〇〇〇円です。

十六才以上は婦人会員となりま

すので、新加入の方、大歓迎です。
こちらにも宜しくお願い致します。

§支部よりお知らせ§

毎年恒例の「全教一斉ひのきしん
デー」が開催されます。皆さまのご
参加お待ちしております。

日時 四月二十九日(祝、月)

午前九時三十分集合 十一時頃解散

場所 鳥海山 木のおもちや美術館

(由利本荘市町村鳴瀬台六五一一)

内容 施設内(トイレ、窓など)、

外(草刈り花壇など)の清掃

天理教教祖百四十年祭

本部秋季大祭参拝及び観光団体

日時 令和六年十月

二十四日(木)～二十八日(月)

参加御供 38,000円

内容 御本部秋季大祭参拝、

長野松本観光、大江戸温泉

「鹿教湯」宿泊など

4月祭典役割表

神殿講話 矢島町分教会会長

| 祭主 | 会 長 | て お ど り | | | | | | | | | | 属 者 | 賛 者 | 指 図 方 |
|-----------------------|------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------------|------------------|-----------------------|-----------------------|------------------|------------------|------------------|-----------------------|-----------------------|------------------|
| | | 雄 物 川 | 上 之 浜 | 坐 り づ と め | 佐 々 木 め ぐ み | 矢 島 町 | 会 長 夫 人 | 会 長 | 雄 物 川 | 上 之 浜 | 東 滝 沢 | 雄 物 川 | 利 翔 布 | 東 滝 沢 |
| 胡 弓 | 三 味 線 | 小 林 理 英 子 | 木 内 教 子 | 佐 々 木 由 正 | 東 滝 沢 (前) | 由 利 道 | 拍 子 木 | チ ャ ン ポ ン | 笛 | 亀 田 町 | 小 林 大 晃 | 齋 藤 賢 爾 | 佐 々 木 良 美 | 畠 山 清 香 |
| 小 川 道 子 | 豊 島 末 子 | 中 村 柳 子 | 小 川 貴 美 子 | 小 川 心 | 伊 藤 一 男 | 桑 原 廣 | 小 野 繁 樹 | 佐 々 木 義 實 | 豊 島 栄 二 | 由 利 東 布 | 伊 藤 伸 | 小 林 大 晃 | 佐 々 木 由 正 | 伊 藤 伸 |
| 佐 々 木 良 美 | 豊 島 末 子 | 中 村 柳 子 | 小 川 貴 美 子 | 小 川 心 | 伊 藤 一 男 | 桑 原 廣 | 小 野 繁 樹 | 佐 々 木 義 實 | 豊 島 栄 二 | 由 利 東 布 | 伊 藤 伸 | 小 林 大 晃 | 佐 々 木 由 正 | 伊 藤 伸 |
| 豊 島 末 子 | 中 村 柳 子 | 小 川 貴 美 子 | 小 川 心 | 伊 藤 一 男 | 桑 原 廣 | 小 野 繁 樹 | 佐 々 木 義 實 | 豊 島 栄 二 | 由 利 東 布 | 伊 藤 伸 | 小 林 大 晃 | 佐 々 木 由 正 | 伊 藤 伸 | 伊 藤 伸 |

開扉・献饌の男子の方は**十時**まで、女子の方は**十時二十分**までおつめ着を着用し、神殿にご集合下さい。

部内だより

矢島町分教会

三月一日をもって宗教法人の手続き全て完了致しました。

由利会長様、矢東、矢浪、役員信者、息子達へ心から感謝致します。

仁賀保分教会

正信は一月二十七日より教会長資格検定講習会を受講させて頂きました。

東滝沢分教会

末っ子の敬行が高校を卒業し春から本部勤務させて頂く事になりました。

由利道分教会

佐々木誠 オーストラリアに再び旅立ちます。多分一年間！